

# サーマルプリンタ BL2-58 取扱説明書

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## はじめに

このたびは、BL2-58 サーマルプリンタをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前の前に、必ず「安全上の注意」をよくお読みの上、プリンタを安全に正しくお取り扱いください。この取扱説明書は、大切に保管してください。

## 安全上の注意

本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

	<b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例

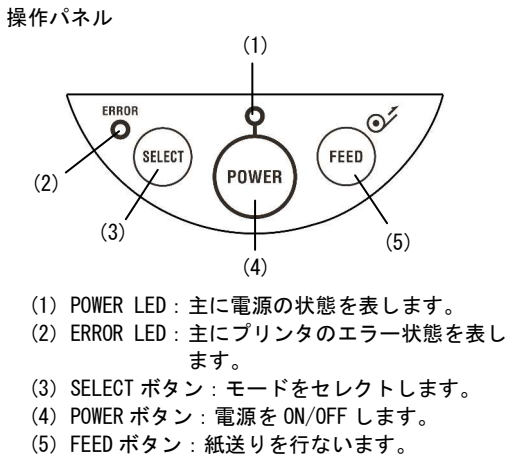
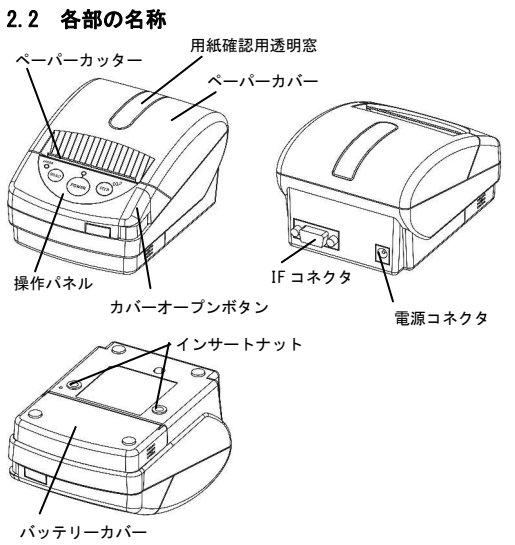
- △記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。
- ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左の表示例は「分解禁止」を表しています。
- 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

	<b>警告</b>	指定以外のバッテリーパック・ACアダプタは使用しないでください。発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。
	<b>注意</b>	電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源ケーブルに傷がついて火災や感電の原因になります。電源ケーブルに傷がついた場合は使用しないでください。
	<b>注意</b>	プリンタ、バッテリーパックおよびACアダプタは絶対に分解や改造をしないでください。発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。

	<b>注意</b>	プリンタの内部や隙間に金属片を落としたり、水やコーヒーなどの液体をこぼさないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	<b>注意</b>	印字直後は、サーマルヘッド部が高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。用紙の交換やヘッドのクリーニングは、サーマルヘッドが冷えていることを確認してから行ってください。
	<b>注意</b>	濡れた手でACアダプタや電池の接続、取り外しはしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	<b>注意</b>	湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	<b>注意</b>	電源ケーブルやインターフェースケーブルをコネクタやコンセントから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。ケーブル部分を引っ張ると故障の原因となります。
	<b>注意</b>	次のような場合は電源ボタンを切り、バッテリーパックを抜いてください。また、充電中は同様に電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 異常状態から回復できないとき</li> <li>◆ 異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき</li> <li>◆ 本装置の内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき</li> </ul>

- お取り扱い上の注意**  
次のことに注意して安全に正しくお使いください。
  - ご使用に際して
    - ◆ 落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
    - ◆ ご使用にならないときは、電源をOFFにして電源コンセントから電源ケーブルを外してください。
    - ◆ 紙を排出口より引っ張りますと、故障の原因となりますのでお止めください。
  - 感熱紙のお取り扱いについて
    - ◆ 乾燥した冷暗所に保存してください。
    - ◆ 固いもので強くこすらないでください。
    - ◆ 有機溶剤の近くに置かないでください。
    - ◆ 塩化ビニールフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないでください。
    - ◆ 複写直後のジヤブおよび湿式コピーとは重ねないでください。
  - 設置について
    - ◆ 水平または垂直な安定した場所に設置してください。
    - ◆ 傾いた場所や、強い振動のある場所  
直射日光が当たる場所やホコリが多い場所  
温度が極端に高い場所や低い場所  
電磁ノイズ、腐食性のガスが発生する場所

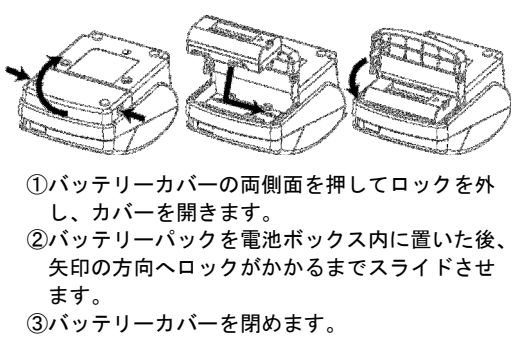
- 準備**
    - 開梱**  
梱包を解きましたら、本体と付属品が全て揃っていることを確認してください。
      - ・ 本体 1台
      - ・ 感熱紙（紙長さ約15m） 1巻
      - ・ 取扱説明書 1枚
      - ・ ACアダプタ 1個
      - ・ ACコード 1本
- ★感熱紙は弊社または代理店にて取り扱っておりますので、お申し付けください。



- (1) POWER LED：主に電源の状態を表します。
- (2) ERROR LED：主にプリンタのエラー状態を表します。
- (3) SELECT ボタン：モードをセレクトします。
- (4) POWER ボタン：電源をON/OFFします。
- (5) FEED ボタン：紙送りを行いません。

- 操作のしかた**
  - 用紙のセット**  
    - ①カバーオープンボタン押してペーパーカバーを開けます。
    - ②用紙を図の向きにセットします。（紙の表裏が反対ですと印字しません。）
    - ③用紙の先端をペーパーカッターより前に出して、ペーパーカバー上面の両端を押し込んでカバーを閉じます。

- バッテリーパック**
  - バッテリーパックの取り付け方



- ①バッテリーカバーの両側面を押してロックを外し、カバーを開きます。
  - ②バッテリーパックを電池ボックス内に置いた後、矢印の方向へロックがかかるまでスライドさせます。
  - ③バッテリーカバーを閉めます。
- バッテリーパックの外し方は、取り付け時の逆操作を行いません。
- 充電のしかた（充電機能のあるタイプのみ）
- ①付属のACアダプタを差し込んだ状態で、プリンタの電源を投入します。
  - ②SELECT ボタンを約3秒間押しすると、POWER LED と ERROR LED が点滅し充電が開始されます
  - ③充電が完了すると、POWER LED が点灯し、印刷待機状態に戻ります。
  - ④充電時間はUR-250が平均3時間、UR-121が平均2.5時間です。（いずれも最大は4時間）

- ▼新品バッテリーパックでのフル充電時は、UR-250で感熱紙210m程度、UR-121で感熱紙140m程度を印字することが可能です。（連続印字、印字濃度100%、印字率30%）
- ▼長時間使用しない場合は、バッテリーパックを抜いてください。
- ▼充電が完了すると充電は切断され、その後の再充電を行いません。バッテリーのメモリ効果により、電圧が低下していきますので、ご注意ください。
- ▼再充電を繰り返すたびに、バッテリーパックの性能は徐々に劣化します。300回の充電により、およそ80%の容量になります。
- ▼寒い所では、使用できる時間が短くなります。
- ▼充電しても使用時間が極端に短くなった場合は、バッテリーパックの寿命ですので、交換してください。
- ▼充電中は印字できません。

不要になったバッテリーパックは廃棄せず、最寄りのリサイクル協力店にお持ちください。

- 壁掛け方法**  
固定ネジ2本（M3x3mm）をご用意頂き、垂直な壁に前後左右の傾きのないように、電源コネクタ面を下にして、背面のインサートナットを使用して固定してください。

- LEDランプ表示**  
エラー状態になると POWER/ERROR ランプの点灯または点滅により、アラームを表示します。  
○：点灯 (0.1sec)、●：消灯 (0.1sec)

状態	POWER (緑)	ERROR (赤)	復帰方法
印刷待機	緑の点灯	消灯	***
初期化中	緑の点灯	○●○●	初期化終了時
充電中	○●○●	●○●○	充電完了時
温度異常	緑の点灯	○●●●	自然冷却
用紙切れ	緑の点灯	赤の点灯	用紙交換
ペーパーカバーオープン	緑の点灯	赤の点灯	ペーパーカバーを閉じる
ローバッテリー	○●○●	消灯	充電する
過充電	○●●●	赤の点灯	お問い合わせください
電圧上限異常	消灯	消灯	お問い合わせください
電圧下限異常	○●●●	消灯	お問い合わせください

- テスト印字**  
FEED ボタンを押したまま電源を入れますとテスト印字を行ないます。搭載している文字とバーコードを印刷します。

- HEXダンブ印字**  
インターフェースから入力したデータを16進数の文字で印字します。SELECT ボタンを押したまま電源を入れ、モード選択が印刷されたら SELECT ボタンを押して、HEXダンブを選択します。

- 機能設定モード**  
メモリスイッチの各種機能の設定を、マニュアル操作により変更できます。
    - ①SELECT ボタンを押したまま電源を入れます。
    - ②モード選択が印刷されたら FEED ボタンを押して機能設定モードを選択します。
    - ③YESの場合はFEED ボタンを、NOの場合はSELECT ボタンを押して設定を進めていきます。
    - ④最後まで項目を進めると「SETTING MODE END」と印刷し、設定を終了します。
- 設定項目
- 設定項目のカテゴリーは次のとおりとなります。
- ・ COMMON SETTING : MODE-A, MODE-B 共通機能
  - ・ MODE-B SETTING : MODE-B 専用情報
  - ・ INTERFACE SETTING : インターフェース機能 (MODE-A : ESC/POS 準拠, MODE-B : BL-58 互換)
- 項目の詳細は技術マニュアルを参照ください。

- メンテナンス**  
サーマルヘッド、紙送りローラー、センサーおよびその周辺を定期的に清掃してください。詳細は技術マニュアルを参照ください。

	電源がオフになっていることを必ず確認してください。
	サーマルヘッドが高温になっている場合がありますのでお気をつけください。

- 仕様**
  - 一般仕様**  
コマンド体系 ESC/POS 準拠、BL-58 互換  
印字方式 サーマルインパクト方式  
インターフェース  
BL2-58S シリアル (RS-232C 準拠)  
コネクタ：D-sub 9ピンオス  
BL2-58P パラレル (セントロニクス準拠)  
コネクタ：D-sub25ピンメス  
BL2-58U USB 2.0  
コネクタ：Bタイプ丸型 4-PIN  
最高印字速度 Max. 80mm/s  
(専用ACアダプタ、印字率12.5%以下の場合)

印字幅/紙幅 48mm/58mm  
 バーコード UPC-A/E, JAN13/8, CODE39, ITF, CODABAR, CODE128  
 対応2次元コード QR, MaxiCode, PDF417, MicroPDF417, DataMatrix  
 電源 バッテリーパック リチウムイオン電池 (オプション)  
 型番：UR-250、UR-121  
 ACアダプタ  
 型番：BLS-120W  
 入力：AC100V～240V、50/60Hz  
 出力：DC9.0V 3.0A  
 ACアダプタ用ACコード  
 型番：ACS-120A (国内向け)  
 ACS-100G (欧州向け)  
 ACS-100U (米国向け)

外形寸法 (W×D×H、突起部を除く)  
93mm×125mm×70mm

質量 約265g  
(感熱紙、バッテリーパックを除く)

動作環境 温度 バッテリー使用時  
-10℃～+50℃  
ACアダプタ使用時  
0℃～+40℃  
バッテリー充電時  
0℃～+35℃  
印字品質保証温度  
+5℃～+40℃

湿度 20%RH～85%RH  
(結露しないこと)

保存環境 温度 -20℃～+60℃  
湿度 10%RH～90%RH  
(結露しないこと)

使用感熱紙 型番：P-58-30  
紙幅：58mm  
ロール紙長さ：約30m  
ロール紙外径：50mm

適合規格 VCCI B、FCC B、CEマーク  
入力バツァ 8kバイト

◎プリンタ型番の詳細は技術マニュアルを参照ください。  
(BL2-58□□□□□□)

◎Windowsドライバ、技術マニュアル(コマンド仕様書)は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。  
 ◎Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。  
 ◎ESC/POSはセイコーインテックス株式会社の登録商標です。  
 ◎この取扱説明書の内容は、製品の改良に伴い、予告なしに変更することがあります。

## 三栄電機株式会社

三栄電機株式会社  
 本社 東京都豊島区池袋2-51-13  
 〒171-0014  
 TEL. 03-3986-0646(代)  
 FAX. 03-3988-5876

西日本営業所 大阪市淀川区西中島3-5-2  
 新居第10ビル 〒532-0011  
 TEL. 06-6309-9530(代)  
 FAX. 06-6309-9532

名古屋営業所 名古屋市東区上社1-802  
 上社タワーマンション2F 〒465-0025  
 TEL. 052-760-6500(代)  
 FAX. 052-760-6510

ホームページ：<http://www.sanei-elec.co.jp>  
(6.2017)